



協会レビュー 2019 年第 5 号

トピック・コラム

令和元年度 都市計画実務発表会の受賞者を紹介します。

協会長賞は中山さん（日本設計）

学会長賞は大山さん（パスコ）と坂井さん（アルパック）

9月27日金曜日に、日本大学理工学部のCSTホールにおいて、令和元年度の都市計画実務発表会が開催されました。

実務発表の中から、特に優れた3件について、当協会及び日本都市計画学会から表彰が行われました。本号では、発表会当日の様子と、表彰された3件の受賞者からのコメントをご紹介します。（編集チーム 津端）



会の概要と当日の様子

この発表会は当協会と（公社）日本都市計画学会の共催により、平成26年度より開催されているもので、今回で6回目を迎えました。今年度は、発表テーマを「新時代における都市づくり」として、一方通行規制の社会実験、空き家対策の取り組みなどをはじめとした、7件のホットな話題が発表されました。74名の受講者の中には公共団体からの参加者も多く、「新時代における都市づくり」への関心の高さが伺えました。

実務発表のテーマと発表者、コメントをいただいた学識経験者は次ページのとおりです。

発表者のレジュメは、協会ホームページでもご覧いただけますので、合わせてご覧ください↓

https://www.toshicon.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/10/2019_happyoukai.pdf

なお当日は、実務発表に先立ち、当協会からの活動報告（都市計画業務のあり方検討部会による「参考となる発注事例調査」）と、日本都市計画学会と都市プランナーとの研究交流活動に関する報告（東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるTDMについて）が行われました。



■実務発表のテーマと発表者

タイトル	発表者及び所属
山間部狭あい道路における時間帯別一方通行規制社会実験	佐多 孝徳 様 玉野総合コンサルタント(株)
法 34 条 12 号に基づく特別指定区域指定に関する知見と、持続可能なまちづくりに向けた土地利用調整手法への見解	池本 悠華 様 (株) ウエスコ
都市部における「空き家予備軍」の特性把握 ～東京都調布市の空き家等対策の取組事例～	大山 哲也 様 (株) パスコ
生駒市における空き家流通促進プラットフォームの検討	坂井 信行 様 (株) 地域計画建築研究所
観光地における利用者視点を加えた施設評価指標の構築と異業種協働による施設整備計画の検討について	中山 佳子 様 (株) 日本設計
県民が主体的に活動したくなる魅力的な公園づくり	櫻井 彩香 様 (株) オオバ
10 の聖地が教えてくれた 都市の『聖地』づくりの極意 (都市計画コンサルタント協会・まちづくり技術交流部会 関西の取り組み)	杉野 卓史 様 (株) 安井建築設計事務所

■コメンテーター

●進行

大沢 昌玄 先生 (日本大学)

●コメンテーター

相 尚寿 先生 (東京大学) 佐野 浩祥 先生 (東洋大学)

江田 隆三 様 ((株) 地域計画連合) 須永 和久 様 ((株) 計画技術研究所)

■表彰

●都市計画コンサルタント協会会長賞

中山 佳子 様 ((株) 日本設計)

●都市計画学会会長賞

大山 哲也 様 ((株) パスコ) 坂井 信行 様 ((株) 地域計画建築研究所)

受賞者のコメント

■中山佳子様 (都市計画コンサルタント協会会長賞)

「この度受賞をさせて頂き、大変光栄に思います。業務内容を論文にアウトプットし、発表をさせて頂いたことで、取組みの価値を明確にすることができました。審査員の先生方、会の企画・運



営においてご尽力をされました協会の皆様に深く感謝を申し上げます。」

■ 大山哲也様（都市計画学会会長賞）

「学会会長賞に選定いただき、ありがとうございました。今後も技術研鑽に励み、公共団体様が取り組む先進的な事例の情報発信などに努めたいと思います。最後に、業務遂行中の的確なご指導・ご指示及び実務発表会への投稿承認をいただいた調布市都市整備部住宅課の皆様（三井課長、松元係長、町田主事）に深く感謝申し上げます。」

■ 坂井信行様（都市計画学会会長賞）

「この度は学会会長賞をいただきありがとうございました。2度目のことで身に余る光栄です。今回、学会会長賞を受賞した2つの発表がいずれも空き家をテーマにしたものだったことは、日々、目の前の社会問題と向き合う私たちの『実務』の発表ならではだと思いました。みなさんもぜひ挑戦されたいかがでしょうか。」

■ 協会会長賞を受賞した中山様の論文・発表に対して、小出和郎技術委員長に伺いました

中山様が作成された論文、および計画策定業務の優れている点は、①異業種のコラボレーションにより、施設整備というハードな視点に加えて、ソフトな視点を重視することが具体化されている点、②調査の方法も他に応用可能と思える点、③さらに、本調査は調査仕様を受注者の提案により大きく変更しているという点があげられます。

なかでも、③の仕様の変更はなかなかできないことですが、発注者・受注者の協議により、プロポーザルの主旨が発揮された例だと思われました。本報告は、他のコンサルタントにとって参考となる沢山の内容を有していることが評価され、協会会長賞の受賞となりました。



■ 中山様（左）と松田協会会長

協会レビュー 2019年第5号（令和元年12月発行）

発行元 一般社団法人都市計画コンサルタント協会

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目二番一八号 ハイツニュー平河3 F

Phone 03-3261-6058 Fax 03-3261-5082 E-mail info@toshicon.or.jp

Website <http://www.toshicon.or.jp/>

編集責任者 須永和久